

△参考▽

1 軍備縮少会議準備委員会

第一回会議報告書

大正十五年六月

軍備縮少會議準備委員會第一回會議報告書

祕

條約局第三課

目次

總論	一
(一) 準備委員會ノ開會	一
(二) 準備委員會參加國並代表	一
(三) 我代表部ノ構成	二
(四) 準備委員會議長及副議長	二
(五) 委員會議事規則ノ決定	二
第一章 軍縮問題一般ニ對スル討議	四
第二章 研究問題各項ノ討議	六
第一節 研究問題第一ニ關スル討議	七
第二節 問題第二ニ關スル討議	九
第三節 問題第三ニ關スル討議	九
第四節 問題第四ニ關スル討議	九
第五節 問題第六ニ關スル討議	一〇
第六節 問題第五、第七ニ關スル討議	一〇

第三章 起草委員會ニ於ケル研究問題審議ノ經過	一九
第一、問題第一ニ對スル討議	一九
第二、問題第二ノ(イ)ニ關スル討議	二〇
第三、問題第二ノ(ロ)及第二ニ對スル討議ノ經過	二一
第四、第四問ニ對スル討議ノ經過	二三
第五、第五問(イ)第一號乃至第七號ニ關スル討議	二三
第六、第五問ノ(イ)第八號及(ロ)ニ關スル討議	二四
第七、第六問ニ對スル討議ノ經過	二七
第八、第七問ニ對スル討議ノ經過	二七
第九、軍事監督問題ニ關スル白國代表ノ提議	二八
第十、化學戰問題ニ關スル英國代表ノ提議	二九
第十一、起草委員會ノ委員會本會議ニ對スル報告案ノ審議	三〇
第四章 委員會本會議ニ於ケル起草委員會報告ノ審議經過	三一

軍備縮少會議準備委員會第一回會議報告書

總 論

(一) 準備委員會ノ開會

軍備縮少會議準備委員會ハ大正十五年五月十八日開會先ツ聯盟事務總長ヨリ本委員會召集ニ至リタル経緯ヲ述ヘ開會ヲ宣ス

(二) 準備委員會參加國並代表

獨逸	「ベルンストルフ」伯
亞爾然丁	「ベレ」氏
白耳義	「ブルッケール」氏
伯刺西爾	「メロ、フランコ」氏
勃牙利	「プーロフ」氏
智利	「ペロ、コデシド」氏
英帝	「セシル」卿
西班牙	「コビアン」氏
米蘭	「ギブソン」氏
芬蘭	「エリック」氏
佛蘭西	「ボール、ボンクール」氏
伊太利	「マリニス」氏

- 日本 松田
和蘭 「ルードン」氏
波蘭 「ソカル」氏
羅馬尼 「コムネヌ」氏
「セルブ、クロアート、スロヴェニス」
「マルコビツ」氏
瑞典 「ヘンニンゲ」氏
「チエッコスロヴァキア」
「ヴェグゼルカ」氏
「ウルグアイ」 「ブエロ」氏
- (三) 我代表部構成

我方ヨリハ松田公使（代表）杉村參事官、四王天陸軍少將、堀海軍大佐、園部陸軍中佐、小林海軍中佐、佐藤大使館三等書記官、土橋陸軍大尉、荒木海軍大尉及鈴木外交官補出席ス

(四) 準備委員會議長及副議長ノ選舉

十八日ノ會議劈頭ニ於テ英國代表ヨリ佛國代表「ボンクール」氏ヲ議長ニ選舉方提議アリ各代表ノ贊成アリタルモ「ボンクール」氏ハ右指名ニハ滿腔ノ謝意ヲ表シ且ツ光榮トスル處ナルモ自國カ軍縮問題ニ對シ特ニ關係深キ地位ヲ占ムル所以ヲ力説シ議長タルノ名譽ヲ受ケ得サル理由ヲ述フ依テ伊太利代表ノ提議ニ依リ和蘭代表「ルードン」氏議長ニ選出セラル又副議長トシテ伊太利ノ提議ニヨリ西班牙代表「コビアン」氏選出セラレ尙米國代表ノ提議ニ依リ副議長ヲ二名トスルコトニ決定「ウルグアイ」代表「ブエロ」氏選出セラル

(五) 委員會議事規則ノ決定

(イ) 委員會本會議ハ原則トシテ公開ト決定ス (C.P.D./P.V./7 參照)

(ロ) 小委員會ノ構成

十八日ノ第一回合ニ於テ英國代表ヨリ本委員會ニ二ノ小委員會ヲ設ケ一ハ軍事専門的ノ審議ヲ掌リ常設軍事諮問委員會代表及同委員會ニ席ヲ有セサル本委員會參加國ノ代表ヲ以テ組織シ他ハ軍事以外ノ經濟的、政治的専門事項ヲ審議スルモノトシ曩ニ理事會ノ構成セル混成委員會ヲ以テ之ニ充テント提議シ佛國代表之ニ贊同シタルモ伊國側ハ第一小委員會ノ構成ニハ同意スルモ混成委員會ハ國ノ代表者ヲ以テ組織スルモノニアラスシテ總テ個人ノ資格ニ於テ出席スルモノナルヲ以テ會議ノ實效ヲ擧ケ難シ寧ロ右混成委員會ト離レテ政府ノ代表ヨリ成ル本委員會ノ小委員會ヲ設クルコトトシテハ如何ト主張シ議纏ラス結局第一小委員會ノ構成ノミ可決シ (C.P.D./7) 第二小委員會ニ付テハ內協議ノ末結局議長ヨリ左ノ如キ提案ヲ爲シ伊國代表モ之ニ同意シ其ノ通り決定セリ (C.P.D./10 參照)

「第二小委員會ハ各國一名宛ノ代表ヲ以テ組織シ本委員會ノ附託スヘキ軍事以外ノ問題ヲ審議ス又右小委員會ハ其ノ擔當問題ニ付各種ノ機關又ハ個人殊ニ理事會ノ組織セル混成委員會ノ意見ヲ徵スルコトヲ得ヘシ」

(ハ) 小委員會議長ノ任命

議長ノ提議ニ依リ委員會副議長ヲ其儘小委員會議長ニ任命セララルコトナリ第一小委員會ニ「コビアン」氏第二小委員會ニ「ブエロ」氏ト決定セリ

(ニ) 起草委員會ノ構成

本委員會ノ討議ノ結果ニ基キ問題集ヲ整理シ委員會ヨリ兩小委員會ニ與フヘキ指令案ヲ作成スル爲十九日午前ノ會議ニ於テ起草委員會構成セラレ議長ノ指令ニ依リ左ノ諸氏委員ニ任命セラル

佛 「ボンクール」氏
英 「セシル」卿
伊 「マリニス」氏

日	松田代表
米	「ギブソン」氏
獨	「ベルンストルフ」伯
白	「ブルッケール」氏
亞	「ペレ」氏
波	「ソカル」氏

第一章 軍縮問題一般ニ對スル討議

委員會ハ先ツ軍縮問題一般ニ對スル討議ヲ爲セリ（十八日午前）發言シタルモノ英、獨、米ノ三代表ナリ

(一) 英代表ハ軍縮問題ハ二ノ方面ニ著目スルヲ要ス即經濟問題及國防問題之ナリト前提シ經濟的ノ方面ニ付テハ英國ハ他ノ諸國ト同一ノ地位ニアリ國民皆重税及産業不振ニ苦シムヲ以テ軍備ヲ節約スルノ必要ニ迫ラレ居レリ國防ノ方面ニ付テハ軍備ノ目的ハ結局他ノ國ヨリ受ケル侵略ノ危險ニ依ルモノニシテ結局ハ各國ノ軍備競争ヲ現出セスンハ已マス之ヲ解決セントセハ一般ノ安全ヲ實現シ一般の軍縮ニ到達セサルヘカラス英國陸軍ニ付テ云ハハ他國ノ軍備ハ英國ノ關知スル處ニアラス英國ノ軍備ハ國內秩序維持ノ目的ヲ以テ維持セラルルノミ即英國軍備ノ目的ハ寧ろ海外領土保全ニ在リ英國ハ世界各方面ニ領土殖民地ヲ有スルノミナラス或種國際義務ノ履行ノ爲例ヘハ埃及「メソポタミア」「パレスタイン」等ニ於テ治安維持ノ任ニ當ラサルヘカラス英國ノ陸軍ハ斯ク特別ノ地位ヲ有スルモノニシテ他國ノ軍備如何ニ依ルモノニアラス然レトモ海軍ニ付テハ問題自ラ異ル所ニシテ或ル點ニ於テ他ノ國ノ海軍力ニ影響セラルル華府會議ノ成果ハ英國ニ於テ大ニ歡迎セラレタル處ナルモ尙巡洋艦並潛水艦ニ付一層之ヲ擴張シ得ヘキヲ認ム空軍ニ付テ云ハハ航空機ハ寧ろ攻撃の武器ナルヲ信スルモノニシテ英空軍ハ全ク他國ノ航空兵力如何ニ依ルモノナルヲ以テ此方面ニ於ケル縮少

ノ實現ヲ冀望シテ已マス要スルニ軍縮實現ノ爲ニハ安全ヲ前提トスルコト勿論ナルモ軍縮モ亦一ノ安全實現ノ要素タルコトヲ忘ルヘカラスト結フ

(二) 獨代表ハ獨政府及獨逸ノ輿論カ大ナル熱望及同情ヲ以テ今回ノ軍縮事業ヲ注視シツツアルコトヲ力説シ本會議ニ依リ軍備競争終息シ平和ノ文化競争ノ時代ヲ實現スルニ至ランコトヲ希望スル旨述ヘタル後一轉シ「ヴェルサイユ」平和條約第五編前文ハ獨逸ノ軍備縮少カ一般の軍備縮少ノ實現ヲ前提トシテ規定セリ此コトハ尙一九一九年六月十六日ノ獨代表ト聯合國代表トノ間ニ交換サレタル文書ニモ明記シアル處ニシテ「ロカルノ」議定書中ニモ明文アリ獨逸ハ此規定ニ依リ完全ニ軍縮セラレ其ノ有スル兵力ハ聯盟規約第八條ニ規定スル國ノ安全ヲ保障スルニ足ラサル現狀ニ在リ獨逸ノ提議セントスル處ハ各政府カ獨逸ト同様ノ善意ヲ以テ軍縮ノ方法ヲ探究スルコトニ在リ聯盟ノ各種ノ討議ニ於テ安全、仲裁、判及軍縮ノ三問題ノ密接ナル關係アルコトハ是認セラレタルモ「ロカルノ」條約ニ依リ安全及仲裁々判ノ問題充分解決セラレタルニ付今ヤ一般の軍縮ニ到達スルノ時期來レリ軍縮ハ聯盟ノ最モ大ナル事業タリ軍縮ナクシテ聯盟ハ其ノ崇高ナル任務ヲ有效ニ達成シ得サルヘシ一方ニ軍備過重ノ國アリ他方自國ノ安全スラ保持スルニ足ラサル兵力ヲ有スル國アル現狀ニ於テハ規約ノ運用ハ各種ノ障害ニ妨ケラルヘシ最モ完全ナル軍縮ノ實現シタル獨逸ハ他ノ諸國ノ獨逸側ニ倣ハレンコトヲ希望スト述フ

(三) 米國代表ハ米國ハ準備委員會參加ヲ欣然快諾シタリ其ノ承諾ノ理由ハ去一月四日米國議會ニ於ケル大統領敎書ノ示通リナリト前提シ其ノ敎書ノ「テキスト」ヲ讀ミ上ケタリ

「米國政府ノ一般政策カ軍備縮少ヲ欲シ居ルコト幾度繰返シ力説スルモ足ラス此ノ政策ニ基キ縮少制限ノ結果ヲ收ムヘキ適切ナル總テノ方法ニ對シテハ吾人ハ同情及支持ヲ與フルニ躊躇セス吾人ハ軍備競争カ戦争ヲ容易ナラシムル一ノ有力ナル要素トナルヲ信ス各國ノ軍備ヲ縮少シ人民ヲシテ租税ノ重課ヨリ救済スルノ必要ハ日毎ニ切實ニ感セララル處ナリ」

此信念ヨリ米國ハ一九二一年華盛頓ニ會議ヲ招集シ又今回軍縮準備委員會ニ參加ヲ應諾シタルモノナリ各種問題ニ對スル米國政府ノ見解ニ付テハ後ニ之ヲ開示スルノ機會アルヘキニ付茲ニ根本的問題ニ對スル米國政府ノ態度ヲ述ヘン世界各方面ニ於ケル情勢ハ頗ル別異ナルヲ以テ陸軍々縮ニ關シ建設の方策ヲ樹立セントセハ世界一般ニ適用セラルヘキ一般縮少ノ方法ニ依ラスシテ軍口地方的協定ノ締結ニ依ルヲ適當ト信ス米國ニ付テ云ハハンカ同國ハ頗ル有利ナル地勢ヲ占メ居リ一九一八年以來四百萬ノ兵員ヲ十一萬八千ニ減少スルヲ得タリ即チ現在ニ於テハ千人ニ付一人ノ兵卒ノ割ナリ即米國ハ其ノ任意ニ其ノ陸軍々備ヲ最少限度迄減少スルヲ得タリ然レトモ右ハ米國ノ特殊ノ地位ニ依ルモノニシテ他ノ諸國カ異ナル情勢ノ下ニ在リテ斯ノ如ク簡單ニ問題ヲ解決シ得サル事情アルコトハ米國ノ充分認メ居ル處ナリ海軍々備ニ付テ云ヘハ華盛頓會議ノ議題中重要ノ部分實現ヲ見ルニ至リタルモ主力艦並航空母艦以外ノ艦船ノ縮少ニ對シテ協定成立スルニ至ラザリキ米國政府ハ海軍々備競争ノ新ナル制限ヲ目的トスル各種ノ企圖ニ贊成ヲ惜マサルヘシ

準備委員會ノ研究題目中ニハ總テノ態様ノ軍備及之ニ關聯スル數多ノ問題ノ研究ヲ包含ス然レトモ軍縮ノ或ル程度ノ成功ヲ實現セントセハ一般原則ノ研究ノミニ執着スルコトナク一般問題ヨリ具體的問題ヲ抽出シ直接且實際的方法ヲ以テ之ヲ處理スルニ在リト述フ

右ニテ一般討議ヲ終リテ研究問題各個ノ討議ニ移レリ

第二章 研究問題各項ノ討議

委員會本會議ハ第三回會議ヨリ第七回會議ニ至ル迄主トシテ曩ニ理事會ニテ決定シタル研究問題各項ニ對スル討議ヲ爲シ委員會ノ右問題各項ニ對スル態度ヲ定メ前述起草委員會ヲシテ其ノ方針ノ下ニ兩小委員會ニ對スル指令案ヲ起草セシムルコトトセリ以下問題各項ニ付審議ノ經過ヲ述ヘン

(附記) 曩ニ理事會ニテ決定セラレタル研究問題各項トハ客年十二月ノ理事會委員會ニテ僅カニ一致ヲ得テ理事會

ニ提出セラレ通過シタルモノニシテ實ハ右研究問題ニ付テハ英佛間ニ必スシモ意見一致セサルモノアリタレトモ英ノ讓歩ニ依リ兎ニ角佛ノ主張セル或ルモノハ研究問題中ニ包含セラルルニ至リタリ然レトモ英國ハ右此際更ラニ覆シテ本來ノ主張ニ立戻ラント努力スルニ至レリ此レ即研究問題各項ニ付討議開始セラレタル重ナル理由ナリ從テ討議ハ主トシテ英對佛伊ノ間ニ行ハレ之カ爲メ從來ノ行懸ニ通セサル新參加國ニハ討議ノ真髓カ不明瞭ナリシヤニモ見受ケラレタリ

第一節 研究問題第一ニ關スル討議

「セシル」卿ハ先ツ本問題ハ第二問ト關係深キヲ以テ本問題ノミ引離シ問題ノ示スカ如キ廣汎ナル範圍ニ亘リ定義セントスルハ無用ノ業ナルノミナラス果シテ效果ヲ收メ得ヘキヤ疑アリ一國ノ兵力ヲ構成スルモノハ結局人員及材料ノ二ニシテ俗ニ軍縮ト云フハ敵對行為開始ノ際又ハ開始後僅少ノ時期内ニ使用シ得ヘキ武力ニ限ラル一國ノ總テノ資源ヲ縮少制限セントスルハ不可能ナリ吾人ノ目的トスルハ平和ノ確保ノ爲メ實現スヘキ軍縮ノ方法ニツキ各人ノ同意ヲ得ルコトニ在リ之カ爲メニハ制限スヘキ兵力ノ範圍ヲ現有且ツ實際的ノモノニ限ルヲ要ス尤モ現有且ツ實際ノ兵力ト云フハ單ニ常備武裝ノ下ニアルモノノミナラス敵對行為開始後僅少ノ時間内ニ動員シ得ルモノヲモ含ムコト勿論ナリ研究問題第一ハ此點ヲ決定シタル上研究ヲ開始スルコト妥當ト信スト述フ之ニ對シ佛國代表モ亦制限スヘキ軍備ヲ平時ノモノニ限ル外ナキコト認メサルヲ得ス何トナレハ平時ノ武力以外ニハ測定計算シ得ルモノナク從テ之ヲ縮少制限シ得サレハナリ然レトモ一國カ平時ノ兵力縮少制限ニ同意スルカ爲ニハ其ノ敵國カ戰時ニ於テ有シ得ヘキ武力ノ總體及侵略ノ危險ニ付充分ノ考慮ヲ加ヘラルルコトヲ要ス第一第二ノ兩問題ニ亘リ專門委員會ノ檢討ヲ要スル事項ハ勿論可能ナル範圍ニ限ラルヘク又開戰後數ヶ月後ニ於テ使用シ得ヘキ資源ハ吾人ノ關知スル處ニアラサルモ此等ノ經濟力ハ敵國ノ常ニ測定シ期待シ居ル處ナリ是レ即佛國其他ノ各國カ常ニ軍備ノ縮少制限カ必然的ニ戰時ニ於ケル經濟的應援ノ組織ト關係アルヲ力説スル所以ナリ此問題ハ研究問題第五(イ)及(ロ)ニ掲ラレ居ル處ニシテ專門委員會カ一國ノ戰時ニ於ケル潛勢力ヲ講究シ各種ノ要素ヲ出來得ル限り正確ニ決定スルコトニ依リ解決シ得ヘシ予ハ問題第一ハ其儘專門委員會ニ附託スルト共ニ第二ニ付テハ原則ノ問題ニ付討

議ヲ繼續センコトヲ提議スト述フ伊國代表ハ軍備ノ問題ハ國際的ノモノタルノミナラス各國ノ特殊ノ利益ニ關係スル所以及各國戰時ノ潛勢力ニ注目スヘコトヲ力説ス白國代表ハ英佛兩代表間ニ縮少ノ目的タル武力ノ範圍ニ付意見一致シタルヲ祝ス英代表カ「平時ノ軍備」ナル用語ヲ以テ平時常備ノ兵力ノミナラス動員ニ依リ僅少ノ時間ニ使用シ得ヘキモノヲモ示サントスルモ寧ロ此兩者ヲ區別シテ舉クルコト妥當ナラサルヤト斷シ動員ニ依リ使用シ得ヘキ兵力ハ特ニ注意セサルヘカラス之カ爲メニハ單ニ現在ノ武力ヲ制限スル外爆彈投下化學戰ヲモ禁遏セサルヘカラス又飛行機工場等カ戰時ニ於テ恐ルヘキ武器タルコトヲ忘ルヘカラス即動員ナル用語ハ次ノ三ノ觀念ヲ包含スルモノト思考ス(イ)平時ノ軍備(ロ)軍事専門家ノ通常云フ意味ノ動員(ハ)工場動員之ナリ此ノ三ツノ觀念ヲ區別シテ考慮セサランカ吾人ノ努力ハ無用ニ歸スルノミナラス危險ノ結果ヲ惹起スヘシ或ハ此種ノ問題ノ研究ハ徒ラニ時間ト勞力トヲ要シ満足スヘキ結果ニ到達シ得サルヘシト批難スルモノアルモ予ハ反對ニ此ノ事業ハ頗ル迅速ニ具體的ノ結果ニ到達シ得ヘシト信ス此點ニ關スル世人ノ誤解ハ問題解決ノ爲メ數學的原理ヲ濫用セントスルニ在リ軍縮ニ此ノ原則ヲ應用シ一ノ化學工場カ步兵聯隊三個ニ該當スルト云フカ如キ方法ヲ執ランカ問題ノ解決絕對ニ不可能ナリ問題ハ計算スルニアラシテ考量スルニ在リト述フ英代表ハ吾人ノ任務ハ二アリ即チ一ハ如何ナル武力ヲ制限シ得ルヤ他ハ如何ナル方法ニ依リ如何ナル武力ヲ制限スヘキヤト云フニ在リ第一ニ付テハ各人ノ意見一致シタリ第二ハ全然本問題ト關係ナキ處ナリ唯茲ニ今一應予ノ「制限シ得ヘキ軍備」ト定義シタル軍備ノ一態様ニ付説明ヲ加フヘシ吾人ハ一國ノ全武力即戰時ニ於テ發揮スヘキ潛勢力ノ全部ヲ制限シ得ルモノニ非ス此等ノ武力ハ各國ニ割當ツヘキ軍備決定上考量ニ入ルヘキハ勿論ナルモ之ヲ正確微細ニ測定シ之ヲ以テ軍備算定ノ基礎トスルカ如キハ全然不可能ノ業タリ又此等ノ武力ヲ考量スヘキコト當然ナルモ之ヲ過重スヘキモノニアラス何レニスルモ今問題トナリ居ルハ制限ノ目的タル軍備ハ如何ト云フ點ニシテ即敵國ノ急激ノ侵略ヲ禁遏スルカ爲メハ直ニ又ハ僅少ノ時間内ニ動員シ得ヘキ武力ヲモ制限スルノ必要アリト信スルナリ若シ此ノ程度ノ制限ニ成功センカ其結果或程度ノ安全保障ヲ獲得スルニ至ルヘキヲ以テ將來一層進ミタル軍縮ヲ爲シ得ヘシ云々ト述フ

右ニテ一先ツ問題第一ニ關スル討議ヲ打切り第一ハ其儘専門委員會ニ送付シ研究セシムルコトニ決定セリ

第二節 問題第二ニ關スル討議

五月十九日午前ノ第四回本會議ニ於テ前日ニ引續キ問題第二ニ關スル討議ヲ爲ス先ツ英代表ハ縮少制限ノ目的タルヘキ軍備ヲ「平時ノ軍備」ト「動員シ得ヘキ兵力」ニ限ランコトヲ提議ス之ニ對シ白國代表ハ(一)「動員シ得ヘキ兵力」ノ觀念ノ内ニハ平時ノ軍備及普通ノ意味ノ動員ノ外工業動員ヲモ含ムコト及(二)戰時ニ於テ發揮スヘキ武力ハ之ヲ制限シ得サルコト勿論ナルモ各國軍備決定上之ヲ考量スルヲ妨ケサルコトノ二條件ノ下ニ英代表ノ提議ニ贊成スル旨ヲ述フ佛國代表モ之ニ贊成シ次ノ如キ形式ノ決議ヲ採用センコトヲ提議ス即チ「委員會ハ現在ニ於テ一國ノ戰時ニ於テ發揮スヘキ軍備ヲ制限シ得サルコトヲ認メ制限縮少ノ目的タリ得ヘキモノハ平時ノ軍備ニ限ラルヘク唯右制限縮少ヲ決定スル場合ニハ問題第一ノ各種ノ要素ノ戰時ノ軍備ニ與フルコトアルヘキ便宜及侵略ノ場合受クヘキ救助範圍及迅速性ヲ考慮スヘキモノト認ム」然レトモ英國代表ハ右提議ノ後半ハ各國ニ該當スヘキ軍備ヲ定ムル場合ニ考量スヘキ問題ニシテ制限スヘキ軍備ヲ決定セントスル此際ニ論スヘキ問題ニアラストテ之ヲ採用ニ反對シ本委員會ニ一ノ起草委員會ヲ設ケテ委員會ノ決定ニ基キ問題集ノ整理ニ當ラシメント提議ス右ニ對シ佛、米、亞其他ヨリ各種ノ意見出テタルモ結局議長ノ指名ニ依リ十名ノ代表ヨリナル一ノ起草委員會構成セラルコトナレリ(起草委員會構成ノコトハ前述セリ)

第三節 問題第三ニ關スル討議

本問題ハ第一ノ問題ト併セテ審議セラレタルヲ以テ討議ヲ略シ起草委員會ニ附議セラルルコトナレリ

第四節 問題第四ニ關スル討議

白國代表ハ此問題ハ純粹ナル専門事項ナルニ付直ニ専門家ニ附議センコトヲ提議シタル處佛國代表ハ専門家ニ附議スルコト何等異議ナキモ先ツ委員會ニ於テ審議ノ上専門家研究ノ方針ヲ決定スルヲ要スト主張シ英國代表モ亦本問題ノ斷定極メテ困難ニシテ總テ防禦的ノ武器ト雖モ攻撃ニ使用シ得ヘク要塞ノ場合ヲ除ク外此區別ヲ認メ難シ専門家モ亦此ノ區別ヲ

爲スコトヲ得サル旨ヲ解答スルニ止マルヘシ依テ研究ノ指針ヲ示ス爲メ本問題ノ起草者タル佛國代表ノ意見ヲ聞カンコトヲ求ム佛國代表ハ此區別ヲ立テ得ヘキモノト信ス現ニ英國代表自身モ亦要塞ノ防禦の兵力ナルヲ認メラルルニ非スヤ其他ニモ兵器ノ性能ニ依リ攻撃のノモノト防禦のノモノト區別シ得ルモノアルヘシト主張シ米國委員モ亦武器ヲ攻撃のノモノト防禦のノモノトニ分ツノ困難ナルヲ力説シ兩者ノ區別ハ武器其物ノ性質ニ非スシテ其ノ使用方法ノ如何ニ在リ防禦ヲ有效ナラシメントセハ純粹ノ防禦の行動ノミナラスシテ攻撃の行動ニ出ツルヲ要スル場合モアルヘシ又要塞ノ如キモ國境又ハ其ノ附近ニ在ルモノハ防禦のノモノト斷定シ得ヘキモ其ノ存スル位置ノ如何ニヨリテハ攻撃ニ利用シ得ヘシト述フ亞爾然丁及瑞典モ之ニ贊成シ兵器ヲ技術上兩者ニ判然區別シ得サル所以ヲ力説シ此區別アリトセハ單ナル政治的ノ議論ナリト主張ス白耳義代表ハ此區別ハ假令政治的性能ヲ帶ヒ且極メテ困難ナル問題ナルニセヨ區別ノ存スルコト丈ハ衆議一決シ居レルヲ認メサルヘカラスト述ヘタルモ英代表ハ此區別アルヲ認メス結局本件ハ其儘起草委員會ニ廻付シテ研究セシメ尙一致ヲ見サル場合ニハ二ノ案ヲ作成シテ本委員會ニ提出セシムルコトナレリ

第五節 問題第六ニ關スル討議

本問題ニ付テハ議長ヨリ其ノ純然タル技術的ノ問題タルニ鑑ミ其儘第一小委員會ニ附議センコトヲ提議シ可決

第六節 問題第五、第七ニ關スル討議

委員會ハ本問題ノ審議ニ入りテ始メテ一般討議ノ形ヲ呈シ各代表自國ノ態度ヲ陳述スル所アリタリ以下簡單ニ其ノ論旨ヲ摘記スヘシ

「セルブ、クロアチア、スロヴェニア」代表ノ所説左ノ如シ

軍備縮少ノ問題ハ自國ニトリ頗ル重要トスル所ナリ若シ各國カ地理的、經濟的、財政的、人口の見地ヨリ同様ノ位置ニアラハ吾人ハ各國ヲ軍備上同様ニ見ルコトヲ得ルノミナラス其軍備縮少ヲ同一ニ解決シ得ヘシ然レトモ事實ハ全ク異レリ我國ノ如キハ何等ノ軍事工業ナク其ノ軍備ノ爲資金及兵器ヲ借入レサルヘカラス斯ノ如キ狀態ノ國ノ軍備ヲ決定スル際ニハ

唯ニ開戦ノ際ノ全國力ノミナラス戰爭繼續中ノモノヲモ考量スルコトヲ要ス又一國軍備ノ決定ニハ安全ヲ度外視スヘカラス

軍備ハ國ノ安全存立統一ヲ基トシテ維持セラル故ニ一國ノ軍備縮少ヲ求メントセハ一層大ナル安全ヲ保障セサルヘカラス「セシル」卿ハ安全ハ軍縮ノ結果生スヘシト云ハレタルモ此種第二段ノ安全ヲ實現スル以前ニ第一段ノ根本的安全ヲ確保シ軍縮問題ノ實際的解決ヲ圖ラサルヘカラス此安全ノ問題ニ付テ云ハハ規約モ保障條約モ吾人ニ充分ノ保障ヲ與フルモノニ非ス云々

「フレン、ツイネレ」(和蘭)左ノ趣旨ノ陳述ヲ爲ス

和蘭ハ一般軍縮ノ實現ノ爲熱心協力ヲ惜マサルヘシ和蘭ノ軍備ハ領土保全ノ目的ニ出スルモノニシテ右ハ同國古來ノ傳統的政策ナリ同國ハ大殖民國ナルニ拘ハラズ軍備縮少ヲ斷行シツツアリ云々

「ブルッケール」(白)ノ述フル所左ノ通り

第五問ハ各國軍備ノ割合ヲ決定スルモノニシテ最重要ナル問題ト認メサルヘカラス各國ノ軍備ハ何ニ比例スヘキヤ第五問ハ各種ノ比較ノ標準ヲ列擧ス人口モ一要素ニ相異ナキモ人口ト安全トノ關係ハ本質的ノモノニ非スト信ス富力ハ如何、富力多キ國ハ自國ノ防禦スルノ必要ニ迫ラルル場合多カルヘキモ兩者ノ關係ハ然ク簡單ニ非ス國土ノ廣狹ハ如何、國土ノ遠隔廣汎ナルコト却テ防禦ノ手段トナリ得ルカ如キ國アルヲ如何セン此等ノ標準ヲ計算ノ基礎トセンカ規約ノ精神ニ遠サカルノ結果ヲ生スヘシ規約第八條第一項ニハ「聯盟國ハ平和維持ノ爲メニハ其ノ軍備ヲ國ノ安全及國際義務ヲ協同動作ヲ以テスル強制ニ支障ナキ最低限度迄減少スルノ必要アルコトヲ承認ス」トアリ即一國軍備ノ確定ニハ安全ヲ基礎トスヘキヲ示ス「セシル」卿ハ軍備其ノモノモ亦安全ヲ實現スル一ノ手段タリト斷定シタリ予ハ此斷定ニ反對スルモノニ非ス一國ノ軍備縮少カ其ノ隣國ノ軍備縮少ヲ促シ其結果安全ノ一ノ原因トナルコトアルヘク少クモ心理的安全ノ念ヲ與フルニ足ルコトアルヲ認メ得ヘシ次ニ第八條ニ基ク軍縮ノ一般計畫ヲ確定スル方法如何予ノ考フル所ニテハ先ツ國ノ安全ヲ確保スル必

要上ノ軍備ヲ維持スル國アリヤ否ヲ調査シ之カ削減ヲ爲スヘク斯クシテ各國何レモ友邦ノ援助ヲ考量シテ自國ノ安全保障ニ必要ナル程度ノ兵力ヲ有スルコトヲ得ヘシ次ニ第二段ノ手續トシテ各國兵力ノ全般的減少ヲ行フコトヲ得ヘシ此第二段ノ軍縮ニハ勿論比例的計算法ヲ用フルコト有利ナルヘキモ右方法ニモ弊害アルヲ忘ルヘカラス又此ノ方法ニ依リ一國軍備ヲ決定縮少スヘキモノトセハ或種ノ武力ヲ他ト獨立シテ考量スヘキモノニアラス例ヘハ陸軍ハ海軍及空軍ト離シテ單獨ニ之ヲ考ヘ陸軍ト化學軍トヲ區別シテ論スルコト不可ナリコレ予カ從來武器タルモノト然ラサルモノトノ區別カ漸ク困難トナレル所以ヲ力説シ工業動員ヲ考量シ之カ公表監督ヲ嚴重ナラシメサレハ一國ノ存立ヲ危クスルニ至ランコトヲ主張シ來レル所以ナリ監督ノ問題ハ頗ル複雜困難ナルモ此問題ノ解決ハ吾人ノ事業ノ成功ニ缺クヘカラサルノ要件ナリ殊ニ近來ノ恐ルヘキ毒瓦斯使用化學戰ノ行ハルル時代ニハ單ニ古來ノ所謂兵器ノ制限ヲ爲スノミニテハ足ルヘカラス又此毒瓦斯使用禁遏ノ爲ニハ唯ニ條約上ノ約束ヲ以テ足ルヘキモノニ非ス嚴重ナル公表及監督ノ制度ヲ確立セサルヘカラス要スルニ軍縮ノ目的ヲ達セントセハ勿論一般協定ニ依ルヲ要決トスルモ一般協定ナクシテ軍縮ナシト斷スヘカラス地方的ノ保障條約ノ下ニ或程度ノ軍縮ヲ實行シ得ヘシ云々

「羅馬尼」代表「デミトレスコ」述ヘテ曰ク

一國ノ軍備ノ割合ヲ決定スルニハ次ノ二ノ根本原則ヨリ出發セサルヘカラス即(一)各國ハ其ノ自國ノ安全ヲ確保スルニ必要ナル軍備ヲ要求ス(二)軍縮ハ安全ノ一作用ナリ依テ一國ニ課スヘキ軍縮ノ程度ハ其國情ニ依リ各國ノ享クヘキ安全ヲ期待シ得ル有效ナル保障ニ鑑ミ決定スヘキモノトス何人モ(一)ノ點ニ付テハ異存ナカルヘシ(二)ニ付「セシル」卿ハ安全ハ又軍縮ニ依リテモ之ヲ實現シ得ヘシト述ヘタルモ此斷定ハ地理的歴史的其他ノ理由ニ依リ屢々外侵ノ目的トナリタル國ニ對シテハ直ニ之ヲ適用スヘカラス若シ各國何レモ安全ノ律カ同一ナラバイザ知ラス現下ノ諸國ノ國情ニ鑑ミレハ輕々シク此斷定ニ贊成シ難シ次ニ(三)一國軍備決定ニハ第五問(イ)ニ列記セル各要素ノ價值ヲ測定スルヲ以テ足レリトスヘカラス隣國ノ同一要素ト比較スルヲ要ス此點ニ於テ一國カ其同盟條約ニ依リ友邦ヨリ得ヘキ保障及規約第十六條ニ依リ聯盟ヨリ

得ヘキ援助等ヲモ考慮スルヲ要スルコト勿論ナリ何レニスルモ此等ノ援助ノ自國ニ來ル迄ノ間外國ノ侵略ヲ防禦スルニ足ル兵力ヲ維持スルコトハ各國ニ一任セサルヘカラス

問題第五(ロ)ニ付テ云ヘハ規約第十六條ノ豫見スル經濟的軍事的援助確實且迅速ニ實行セラルルニ至ラハ軍備縮少ニ資スルコト大ナルヘシ唯廣汎ナル版圖ヲ有シ且抵抗力強キ國ニ對スル制裁ハ兎角充分ナラサル虞アリ從テ此ノ如キ國ノ隣國カ軍備ヲ充實シ置クコトハ正當且缺クヘカラサルモノトシテ承認セサルヘカラス監督ノ制度ノ如キモ版圖ノ廣漠タル國ニ對シテハ充分ニ行ハレサル嫌アリ

次ニ第七問ニ對シテハ前述ノ如ク軍縮ハ安全ノ一作用ナルヲ以テ一部ノ安全ハ一部ノ軍縮ニ資スヘキモ一般軍縮ノ爲ニハ一般ノ安全ヲ實現スルヲ要スト約言スルコトヲ得ヘシ云々

芬蘭代表「エリク」氏述フル所左ノ如シ

自國ノ如キ常ニ侵略ノ危險ニ曝サレ資源ナキ國ニトリテハ充分ナル軍縮ヲ爲スカ爲ニハ規約ノ根本的規定殊ニ規約第十條及第十六條カ一層有效トナルコトヲ要ス此點ニ關シ「ゼネバ」議定書ノ失敗ヲ遺憾トス最近建國セラレタル諸國中ニハ其實力乏シキ爲其軍備ヲ國家ノ安全ヲ保護スルニ充分ナル程度ニ維持シ得サルモノアリ此等ノ國ニハ軍縮ノ問題起ラサルヘシ自國ノ特殊ノ地位ニ付テハ他日之ヲ述フル機會アルヘキニ付詳言セサルモ特ニ注意ヲ乞ヒタキハ自國ニ隣接セル大國カ本委員會ニ參加シ居ラサル爲軍縮ノ條項ニ付判定ヲ下シ得サルコトコレナリ

波蘭代表「ソカル」氏

軍縮問題ニ付テハ純技術的問題ト政治的問題ト密接ノ關係アリ即各國ノ軍備其ノモノハ決シテ平和ニ對スル脅威タルニハアラス平和ニ對スル脅威ハ政治的且心理的ノ原因ニ存ス從テ若シ各國一致シテ絕對ニ戰爭ニ訴ヘサルコトヲ約シ總テノ紛爭ヲ平和的ニ處理センコトヲ協定ストセハ軍縮ノ實行ハ比較的容易ニ成就シ得ヘシ約言スレハ仲裁、安全及軍縮コレナリ波蘭ハ安全ノ見地ヨリセハ頗ル不利ナル地位ニ在リ若シ波蘭ニ對シ充分ノ安全ヲ保障セラレサルニ於テハ軍縮モ不充分ナ

ラサル能ハス殊ニ其ノ隣國カ聯盟ニ加入セス軍縮準備委員會ノ事業ニモ協力シ居ラサル現狀ニ於テオヤ然ラハ現在ノ狀勢ニ於テ如何ニシテ軍縮ニ著手スヘキヤ予輩亦一國ノ各種ノ資源ヲ制限シ得サルヲ認ムルト共ニ此等ノ要素カ軍縮實行ノ場合考量スヘキ重要ノ點ナルコトヲ認ム且理事會ノ紛爭處理ノ手續ヲ敏活ナラシムルコトニ依リ各國ノ信賴及安全ヲ増加シ得ヘシ此點ニ關スル現在ノ理事會ノ手續ハ不充分ナルヲ免レス

要スルニ委員會ハ餘リニ廣汎ナル範圍ニ互リ審議スルコト得策ナラス寧ロ安全實現ノ階梯ニ應シ部分的ニ問題ヲ解決スルニ努ムルヲ可ナリト信ス

米國代表「ギブソン」氏ノ所説左ノ如シ

安全ヲ得ルコトカ軍縮ニ影響アルコトハ否認スヘカラサルモ此問題ハ地方ニ依リ異ナルノミナラス安全ノ問題ハ歐洲諸國ニ於ケルト他ノ大陸ニ於ケルト區別シテ考量セサルヘカラス依テ陸軍及空軍ノ制限ノ兩大陸ノ間ニ於ケル交渉殆ト又ハ全然存在セサルヘシ即問題ハ全ク地方的性質ヲ有スト云フ所以ナリ既ニ地方的性質ノ有スル以上一般の基礎ノ下ニ解決スルヨリ寧ロ地方的ニ解決スルコソ適當ナルヘシ

一般的安全ノ實現ヲ待タサレハ軍縮ヲ實行シ得スヘ云フ議論ハ循環論法ニシテ結局何等軍縮實行ノ餘地ナシト云フニ歸著スヘシ問題第七即軍縮カ安全ニ依リ影響セラルト云フハ歐洲ノ陸上兵力ノ制限ニ付テハ云ヒ得ヘキモ他ノ大陸ニ付テハ同一ニ論スヘカラス米大陸ニ付テ云ヘハ各國相互且任意ノ陸空兵力制限ニ依リ顯著ナル安全ヲ獲得シ得タルニテ政治的協約ニ依リ安全ヲ保障スルノ要ナカリシナリ

獨逸代表「ベルンストルフ」伯

軍縮ニ關スル協定ハ一朝ニシテ成ルモノニ非ス順序ヲ追ヒテ之カ實現ニ努力スヘシ論者往々ニシテ戰前ニ用ヒラレタルカ如キ證據ヲ持出スモノアルモ既ニ國際聯盟ノ成立以來世界ノ狀態一變シタルヲ忘ルヘカラス即現在ニ於テハ聯盟對侵略國ノ關係アルノミ各國ノ安全ヲ欲求スルコト當然ノ事理ナルモ本委員會ノ招集ニ關スル第六回聯盟總會ノ決議ヲ讀ム時ハ

此點ニ關スル懸念消滅スヘシ即理事會ハ一般ノ安全實現セラレタリト認ムルトキニ於テ初メテ軍縮ノ實行ヲ爲ストアリ一般ノ安全ハ軍縮ノ前定條件タルナリ獨逸ハ最極端ナル軍縮ヲ實行シタル經驗ヲ有ス白代表ノ主張セル飛行機戰、毒瓦斯戰ノ如キ何故ニ此際直ニ一般協定ヲ結ビ之カ絕對禁遏ヲ爲シ得サル理由アラシヤ軍縮ノ此ノ方面ヨリ著手スルヲ捷徑トス又白代表ハ飛行機襲撃ニ對スル首府及其住民防禦ノ手段ヲ一國ニ禁遏スルハ皮肉ナル非人道行爲ナリト云ハレタリ然レトモ獨逸ハ此種ノ手段ヲトルコトスラ條約ニ依リ禁遏セラレ居レリ即軍縮ノ濫用ハ却テ惡結果ヲ齎スコトアルヲ示ス一證ナリ次ニ戰時潛勢力ノ問題ニ付テハ唯一國ノ工業力ニ注目スルノミナラス平時ノ工業ヲ戰時工業ニ變更スル可能性ニ付研究セサルヘカラス然レトモ獨逸ニ付テ云ヘハ此變更ヲ爲スコト能ハス獨逸ノ工業ハ國境ノ附近ニ存スルヲ以テ數時間内ニ破壊シ盡サルルニ至ルヘシ要スルニ問題集ハ餘リニ詳細ニ過キ果シテ討議カ敏活ニ遂行セラレ得ルヤヲ疑ハシムルモノアルト共ニ飛行機戰化學戰ノ禁遏並重砲使用植民地兵等ノ重要ノ問題ヲ脱シ居レリ此等ノ問題ハ容易ニ解決シ得ヘク成功ノ上ハ大ナル功獻ヲ齎スヘキヲ疑ハス云々

英代表「セシル」卿左ノ陳述ヲ爲ス

獨逸代表ハ國際聯盟ノ創立カ世界ノ情勢ヲ一變シ今ヤ聯盟ノ一員タル國ハ規約ニ基ク應援ノ場合ヲ除クノ外戰爭ニ參加スル場合ヲ豫想シ得スト云ハレタルヲ聞キ予輩ハ歡喜ニ耐ヘサリキ何トナレハ予ハ英國ノ根本ノ政策ノ其處ニ在ルヲ信スルモノナレハナリ予ハ又白國代表ノ主張ニ全然同意見ナリ即委員會ノ事業カ相當ノ時日ヲ要スヘキニ付キ之カ實現ニ至ル迄各國自發的ニ軍備制限ヲ實行スルコト必要ナリト信ス英國海軍ニ付テ云ヘハ一九一四年七月ニ於テ隻數六四一、總噸數二、三〇五、〇六五噸ヲ算シタルニ一九二六年四月ニ於テハ四六五隻一、三八九、七八七噸ニ減少シタリ陸軍ニ付テ云フモ現在ニ於テハ戰前ノ六分ノ五ヲ保存スルニ過キス唯空軍ニ關シテハ戰前ニ比シ莫大ナル増加ヲ示シタルモ空軍ハ主トシテ戰爭以來ノ發達ニ係ルヲ以テ同一ニ論スルコトヲ得ス但此點ニ關スル協定ニ對シテハ英國ハ欣然參加セントスルモノナリ軍縮ト安全トノ關係ニ付テハ予輩亦其ノ離ルヘカラサルモノタルコトヲ認ムルモノニシテ此原則ハ一九二三年ノ決議十四

ニ示サルルノミナラス客年ノ總會ノ決議ニモ明示シ居レリ然レトモ予ハ又一方米國代表ノ云フ如ク一般又ハ部分的ノ安全實現シ居ラサル場合ニ於テモ尙軍縮ノ實行ニ著手スヘキヲ信スルモノナリ

航空戰及化學戰ニ對シテハ各種ノ意見及提議アリタルモ予ハ單ナル禁遏ヲ約スルノミニテハ不充分ナリト信スルモノナリ進ミテ此等ノ戰爭ノ準備ヲ爲スコトヲモ禁遏スルノ要アリ

軍事監督及公表ノ問題ニ付テハ予ハ敢テ反對スルモノニ非サルモ不幸ニシテ毒瓦斯ノ製造頗ル容易ニシテ不時ノ場合直ニ染料工場ヲ變スルコトヲ得ルノ事實アリ之ニ關スル監督ハ頗ル困難ナルヘシ加之化學戰ハ問題ノ一部ニ過キス最モ危險ナルハ各國カ軍備縮少ヲ實行セザランカ爲各種ノ理由ヲ附シテ之ヲ回避セントスルニ在リ

第五問 (イ) ニ示サルル方法ハ最實際的ノモノト云フコトヲ得ス此點ニ關スル白代表ノ意見ニハ同感ナルモ此等列舉ノ事項ニ付指數ヲ定メ之ヲ各國ニ適用セントスルコト能ハサルヲ信ス同問題ノ解決ニハ數學的原野ヲ適用スヘキモノニ非ス

第五問 (ロ) ニ關シテハ予輩ハ具體的ノ提案ヲ存セス本件ニ對シテハ何人モ「然リ」ト答フルニ躊躇セサルヘキモ本問ハ要スルニ規約第十六條ヲ有效ナラシムル爲ノ實際的方法ヲ研究セントスルニ在ルヘク頗ル困難ナル問題ナルヲ認メサルヘカ

ラス吾人ハ單純ニ專門委員會ニ附託スルコトナク委員會カ何ヲ審議スヘキヤノ指針ヲ與フルコトヲ要ス
空軍監督及公表ノ問題ニ付テハ予輩ハ其ノ複雜困難ナルヲ認ムルト共ニ發案者ニ於テ起草委員會ニ具體案ヲ提出セラレンコトヲ望ム

米國代表「ギブソン」氏曰ク

本委員會審議ノ手續ニ關シ一言シ度シ即委員會ノ最後ノ決定ハ如何ナル形式ノモノナリヤ即將來ノ軍縮大會議ノ議事日程ヲ作ルノミナリヤ將又一ノ軍縮條約ノ草案ヲ起草セントスルモノナリヤ予輩ハ此點ニ付各代表ノ意見ヲ伺ヒ度シ

「チエッコ、スロヴァキア」代表「ヴェヅェルカ」氏ノ所說左ノ如シ

軍縮問題ニ對スル「チエッコ」ノ一般見解ニ付テハ前述セルニ付之ヲ略シ單ニ軍縮及安全ノ密接離ルヘカラサル關係ニ在ル

コトヲ力說セントス又問題第五及第七ハ之ヲ併セ考慮スヘキコト當然ナリ第五ハ一國ノ潛勢力ニ關スルモノニシテ之ヲ測定評價スルハ專門委員會ノ任務ニ屬ス問題第七ニ付テハ地方的協定ニ關スルモノニシテ此等協定ノ各國潛勢力ノ組織ニ影響ヲ及ホスコト當然ノ理ナリ從テ地方的協定ノ結果或範圍ニ於テ軍備ノ縮少ヲ導キ得ヘシ第五 (ロ) ノ點ニ付テモカ軍縮ヲ容易ナラシムルニ力アルコトヲ認メサルヲ得サルモ目下ノ組織ニテハ規約ニ依ル應援義務ノ範圍及程度ハ應援國ニ於テ自由ニ判定スヘキコトナリ居ルヲ以テ被侵略國トシテハ充分之ヲ期待スルコト能ハス若シ此應援義務カ一層正確ニ規定セラレ應援義務國ノ自重裁量ノ程度局限セラレ居ルモノトセハ吾人ハ本件ニ付討議スルノ要ナキナリ

伊國代表「マリニス」氏軍事監督問題ニ付述ヘテ曰ク

伊國輿論ハ軍事監督ニ反對ニシテ予ノ私見亦同様ナリ監督ノ問題ハ理論トシテハ好マシキ所ナルモ實行上ニハ幾多ノ困難危險アリ若シ軍縮ノ實行ニ付惡意ヲ有スル國アラハ此國ハ各種ノ方法ヲ講シテ監督ヲ有名無實ノモノニ化シ去ルコトヲ得ヘシ若實行上監督ヲ有效ノモノトセントセハ一國工業ノ全般ニ互リテ之ヲ實行セサルヘカラス斯クノ如キハ國民ノ反感惡意ヲ買ヒ危險ノ結果ヲ生スヘキヤ必セリ依テ此監督ノ問題ハ後廻シトシ先ツ軍縮條項ノ實行ノ成績ヲ觀察スルヲ妥當ト信ス

起草委員會ノ任務ニ付テハ一九二五年十二月十二日ノ理事會決議ニ依リ明ナリ即委員會ハ單ニ理事會ノ附託セル問題集ニ付研究スルノ任務ヲ有スルノミニシテ總會議ニ附議スヘキ條約案ノ起草ニ當ルモノニアラス

佛代表「ポール、ボンクール」氏

第五問ハ軍縮問題全部ヲ包含ストモ云フヘシ本問題ヲ卒讀セハ各要素ニ付數學的計算ヲ施シ各國軍備ノ比率ヲ決定スルモノノ如ク見ユルモ此等ノ要素ヲ列舉シタルハ唯將來ノ協約締結ニ當リ各國カ各別ニ提議ヲ爲ス場合及他ノ諸國カ右提議ヲ判定評價スルニ當リ之ヲ考量スルヲ要スト云フニ在リ此等ノ要素中ニハ其本質ニ於テ單純ニ技術的ナラサルモノアルモ善意ヲ以テセハ技術的問題トシテ解決シ得ヘシ予輩ハ是等ノ問題ヲ其儘專門委員會ニ附託シ其結果ヲ俟チ充分討議スルヲ可

ナリト信ス唯此列舉ノ事項中(イ)第八項及(ロ)ノミハ其性質ニ於テ純然タル政治的ノモノニシテ本委員會ノミ之カ審議ノ權限ヲ有スヘク一定ノ方針ヲ決定シタル後專門委員會ニ附託スルコトヲ要ス

吾人ハ安全、仲裁、軍縮ノ三觀念一體ノ原則カ總テノ問題解決ノ基礎タルコトヲ確信スルモノナリ此原則ハ從來ノ總會ノ決議ニ繰返サレタル所ニシテ若シ此原則認メラレストセハ吾人ハ軍縮ノ事業ヲ拋棄セサルヘカラス吾人ノ目的ハ獨逸代表ノ云ハレタル如ク一國ト他ノ一國トノ戰爭ナル觀念終滅シ聯盟對侵略國ノ觀念ニ代ラサルヘカラザルコトニ在リ之カ爲ニハ侵略ヲ受ケタル國カ他ノ聯盟國ノ無形ノ應援ヲ受ケヘキ確實ノ組織ヲ作ラサルヘカラス此組織ヲ成就スルカ爲メ從來爲サレタル總テノ提議總テノ企圖ニ對シ佛國ハ無條件ニ左擔シ來レリ然レトモ過去ノ歴史ヲ顧ミルトキハ佛國ノ努力ニ對シ何等酬ヒラルル所ナカリシヲ知ル戰爭直後佛國ハ直ニ「國際軍」ノ組成ヲ提議シタルモ容レラレサリキ「セシル」卿等ノ起草セル保障條約ニ對シテモ佛國ハ無條件ニ同意シタルモ各國ノ採用スル所トナラサリキ壽府議定書ニ對シテモ佛國ハ舉國一致ノ贊成ヲ得テ最先ニ之ニ調印セリ然モ右議定書ハ成立ニ至ラサリキ斯ク規約ニ基ク應援義務ニ關シ公正確實ナル手續ノ定マリ居ラサル現狀ニ於テハ一般の軍縮ハ不可能ノ業ナリ部分的安全ニ對シテハ一部の相對的ノ軍縮ヲ爲シ得ルノミ吾人ハ白國代表ノ述フル如ク現在ノ狀態ニ於テモ之ト相容ルル程度ノ自發的軍縮ヲ爲スノ義務アルヲ信ス歐洲ノ現狀ヲ見ルニ以前ニ比シ多少ノ程度ニ於テ安全ヲ確保シ得タルヲ認ムヘク殊ニ「ロカルノ」條約聯盟規約ノ如キ與テ大ニ力アルコトヲ否認スヘカラスコレ吾人カ軍縮ノ事業ニ參加スルヲ諾シタル所以ナリ然レトモ規約ノ規定ハ充分ナラス各國ノ負ヘル義務ハ一般的且漠然ト規定セラレ居ルニ過キス規約ノ規定ヲ一層確實ナラシムルノ必要アリ第一ニ侵略者ノ判定ノ手續ヲ迅速ナラシムルコト第二ニ一度侵略者判定セラレタル後被侵略者ノ期待シ得ヘキ應援ヲ迅速ナラシムヘキ手段ヲ定ムルコトコレナリ之カ爲ニハ敢テ規約ノ改正乃至新ナル協定締結ヲ要求セントスルモノニ非ス是等ノ事項ニ付實際的且積極的ノ方法ヲ確定シ置クコトニ在リ勿論此救援其モノハ各國ノ正義心ニ訴フルノ外ナキモ之ヲ求ムル方法ニ付正確ナル手續ヲ定メ置カントスルニ在リ此等ノ點ニ付專門委員會ノ意見ヲ求メハ必スヤ満足スヘキ成果ヲ齎スコト信シテ止マス

次ニ米國代表ノ求メタル我委員會ノ任務ニ付一言スヘシ此點ニ於テ予ハ伊代表ノ所說ニ全然同意見ニシテ委員會ノ爲スヘキ最終ノ提案ハ專門委員會ノ審議ヲ俟テ決定スヘキモノナリ此點ニ於テ理事會決議ノ趣旨明ナリ毒瓦斯其他化學戰ノ禁遏ニ付テハ既ニ兵器取引取締會議ノ際一ノ協定ヲ締結シタルヲ忘ルヘカラス佛國ハ最先ニ此協定ヲ批准シタル國ノ一員タリ尙此ノ點ニ付予ハ「バクテリア」戰禁遏モ併セテ研究スルノ要アルヲ注意セントス右ノ外伯、亞、瑞典等ノ代表ノ陳述アリタレトモ之ヲ省略ス

第三章 起草委員會ニ於ケル研究問題審議ノ經過

起草委員會ハ三月二十一日ヨリ開會委員會議長和蘭代表「ルードン」氏其議長席ニ就キ前後七回ノ會議ヲ重ネ研究問題ノ整理ヲ終リ白國代表「ブルッケール」氏報告者ニ任命報告ヲ作成セシメ之ヲ二十五日ノ委員會本會議ニ提出シタリ左ニ起草委員會ニ於ケル討議ノ模様ヲ略記スヘシ

(第一) 問題第一ニ對スル討議

本問ニ對シテハ二ノ提案アリ英國案(C.P.D./C.R./I)及「セルブ、クロアイト、スロヴェーヌ」案(C.P.D. 12)是ナリ英國代表ハ本問題ヲ單純ニ專門委員會ニ附託セシコトヲ提議シ「セルブ、クロアイト、スロヴェーヌ」ノ提案ニ對シテハ一國ノ全部ノ力ヲ軍備ノ觀念ノ中ニ入レントスルモ其ノ大體ノ測定スラ不可能ナリト思考スト主張シ伊國代表モ之ニ贊シ經濟的要素ノ定義ヲナスコトニヨリ「セルブ」ノ主張ヲ満足セシメ得ヘシ但軍事委員會ハ經濟的問題ノ研究ヲ爲ス資格ナキヲ以テ本件ニ付テハ審議セサルニ至ルヤモ知レズト述フ佛代表ハ本件ハ軍事經濟兩方面ノ研究ヲ要スルニ付第二小委員會ニモ亦之ヲ附議スルカ又ハ一般的ニ一ノ委員會カ其ノ研究範圍ニ屬セサル問題ニ付テハ他ノ委員會ニ諮問シ得ルコトトシテハ如何ト提議シ結局本問題ヲ第一小委員會ニ送付スルト共ニ第一小委員會ハ必要ノ場合第二小委員會ニ諮問スルヲ得ルコトトセリ

(第二) 問題第二ノ(イ)ニ關スル討議

本問ニ關シテハ「セシル」卿ヨリ左記ノ提案アリ (G.P.D./C.R. 1)

「委員會ハ一國ノ戰時ニ於テ保有スルコトアルヘキ軍備ヲ制限スルコト能ハサルコト縮少ハ唯直チニ動員シ得ヘキ兵力ニ限ラサルヘカラサルコトヲ認ム但シ第五開ニ列舉セルカ如キ他ノ各種ノ要素ニ付各國ノ許與スヘキ軍備ノ割合ヲ決定スルニ當リ之ヲ考量スルコトヲ得ルコト勿論トス

直チニ動員シ得ヘキ兵力トハ動員開始ノ日ヨリ起算シ短時日ノ間ニ戰爭ニ用ヒ得ル爲メ準備ノ供ハリタル一國ノ兵力及武器ヲ云フ即チ相當ノ期間ノ經過シタル後使用シ得ヘキ補助的兵力及武器ニ對照スル用語ナリトス

委員會ハ軍事小委員會ニ對シ左ノ諸點ニ付意見ヲ求ム

(イ) 「直チニ動員シ得ヘキ兵力」ニ包含セラルヘキ要素如何

(ロ) 前項ニ依リ動員期間ト認メラルヘキ期日如何

白國代表ハ先ツ「直チニ動員シ得ヘキ兵力」ナル用語ニ付質問シテ例ヘハ瑞西ノ如キ國民全部短期ノ兵役ニ就キ一朝動員ノ場合莫大ナル兵員ヲ得ル國アリ又常備兵僅少ナルモ體育俱樂部等ノ私的組織發達シ居ル國アリ之等ノ兩者ハ直チニ動員シ得ヘキ兵力ナリヤ又ハ前者ノミナリヤ例ヘハ毒瓦斯ヲ戰時ニ於テ使用スヘキ旨ヲ公言シ一定ノ設備ヲ施ス國アリ或ハ私立ノ工場多ク存在シ事アル時之ヲ毒瓦斯製造工場ニ利用シ得ル國アリ直チニ動員シ得ヘキ兵力トハ前者ノミヲ指スヤ此ノ紛糾ヲ避クルニハ寧ロ「一國カ特定ノ時間内ニ戰爭ニ使用シ得ヘキ材料」ト云フカ如キ用語ヲ採用シテハ如何ト提議ス英代表之ニ答ヘテ前者ノ例ニ付テ云ヘハ此等ノ人員ヲ果シテ短少ノ時間内ニ戰線ニ立タシメ得ルヤ否ヤノ實際問題ニ歸スヘク後者ノ例ノ如キ場合ハ特別ノ規則ヲ設定スルヲ要スルハ勿論ナリト述フ白代表ハ然ラハ寧ロ監督ノ制度ヲ採用スルカ又ハ此ノ區別困難ナリトシテ平時現有ノ兵力ノ制限ニ限ルノ他ナキカノ二途ノ中一ヲ選ハサルヘカラスト酬イ決著セス佛代表ハ問題ハ頗ル明白ナリ問題集ヲ見ルニ兵力ヲ分ツテ平時ノ兵力ト戰時ニ於テ保有スルコトアルヘキ兵力ノ二ト爲セリ平時

ノ兵力ノ制限頗ル容易ナルモ戰時兵力ノ制限ヲ有效ナラシメントセハ嚴重ナル監督ノ制度ヲ確立スルヲ要シ果シテ各國ノ同意ヲ得ヘキヤ疑ハシ依テ其ノ範圍ノ正確明瞭ナル平時ノ兵力ニ付制限ヲ爲スコト最モ有利ノ方法ナリトス然ラハ平時ノ兵力トハ如何、英代表ハ一定ノ制限ヲ定メ此ノ期間内ニ動員シ得ヘキ兵力ヲモ含マシメントスルモ動員ハ各國ノ努力ニ依リ早ムルヲ得ヘシ依テ予輩ハ「動員ニ依ラスシテ使用シ得ヘキ兵力」ナル用語ヲ採用センコトヲ提議スト主張シタルモ英代表ハ之ニ同意セス自說ヲ固守シ又白國代表モ直チニ動員シ得ヘキ兵力ヲ制限セサルコトヲ危險ナリトシ侵略ハ唯ニ平時ノ兵力ニ依リ行ハルモノニアラスト主張シ互ニ相讓ラス論戰ノ末結局佛國代表ノ提案ニ依リ前記英國提案第二項以下ヲ削除シ第一項ヲ左ノ如ク修正シ折合ヒタリ

「委員會ハ現時ニ於テ一國戰時ニ於テ保有スルコトアルヘキ軍備ヲ制限スルコト能ハサルヲ認ム之ニ反シ各國ノ平時ニ於テ保有スル陸海空ノ兵力及動員ノ方法ニ依ラスシテ直チニ使用シ得ヘキ兵力ヲ制限シ得ヘキコトヲ確認ス但シ此原則ハ何等他ノ問題殊ニ問題第五ノ研究ノ結果生スヘキ軍縮ノ條件ニ影響ヲ及ホスモノニアラス

軍事小委員會ハ此等ノ兵力ノ定義及戰爭ノ場合ニ於テ直チニ使用シ得ヘキ兵力ヲ制限シ得ルヤ否ヤヲ研究スヘキモノトス」

(第三) 問題第二ノ(ロ)及第三ニ對スル討議ノ經過

問題第二ノ(ロ)及第三ニ關シテモ英代表ヨリ左記ノ提案アリタリ (G.P.D./C.R. 1)

「(イ) 如何ナル法則ニ依リ一國ノ陸、海、空ノ各軍備ヲ他國ノ夫レト比較スルコトヲ得ルヤ

(ロ) 如何ナル方法ニ依リ陸、海、空ノ各軍備ヲ縮少制限シ得ヘキヤ此等ノ方法ノ利害得失如何

〔註〕左記ノ諸方法ハ特ニ推舉セラレタリ

義務兵役制ニ依リ徵集セラレタル兵力ノ服役期間ノ縮少制限

義務兵役制度ノ廢止

兵器材料ノ縮少制限

國防ニ充當セラルル支出ノ削減制限

右提案ニ對シテハ白國及伊國代表ヨリ義務兵役制度ノ廢止ノ問題ヲ列擧シタル點ニ付異議ヲ申立テ此問題ヲ討議スルコトニハ敢テ反對ナラサルモ右廢止カ委員會一致ノ意見ナラサルコトヲ明確ニシ置クコトヲ要スト述ヘ佛國亦之ニ贊シ「註」ノ内容ヲ問題集原案ノ通り維持センコトヲ主張シ又義務兵役制度廢止ノ問題ハ政治的色彩ヲ帶ヒ委員會本會議ノミ之ヲ論スルコトヲ得ヘク專門委員會ノ權限内ニ在ラスト反駁シ結局佛國代表ノ提案採用セラレ英提案ノ「註」ノ原案第二(ロ)第二項ノ通り起草スルコトニ落着セリ

(第四) 第四問ニ對スル討議ノ經過

英代表ヨリ本問全體ニ代ルヘキ左記ノ提案アリ

「一國領土防禦ノ爲ノ外使用シ得ラレサル軍備アリヤ若シアリトセハ如何ナルモノナリヤ」

英代表ハ本委員會ノ討論ノ經過ヨリ推スニ結局委員會ノ意見ハ防禦ノ爲ノ外使用シ得ラレサル武器アリヤヲ知ラントスルニ在ルモノト認メラレ即總テノ武器ハ作製者ノ目的如何ニ拘ラス攻撃ノ爲ニモ使用シ得ルヲ以テ軍備ノ割合決定ニ當リ考量ニ入ルヘシト云フニ在ルヘシ又原案第二項ハ誤リタル結論ヲ生スル虞アルニ付之ヲ削除セリト説明ス之ニ對シ伊、白、我方等同意シ佛モ前半ニ對シテハ別ニ異議ヲ插マサリシモ原案第二項削除ニハ反對シ殊ニ軍備構成要素タル兵員、兵役年限單位數等ヲ漸次ニ減少セシムル制度ニ付軍事委員會ヲシテ研究セシメ此等ノ減少カ攻撃ノ意思ヲ有セサルコトヲ示スモノニ非ルヤ否ヤヲ明ニシテハ如何ト提議シ原案第二項ニ代ルヘキ左案ヲ提出セリ

「相當ノ期間以來減少ニ進ミツツアル兵力ノ組織ハ防禦ノ意思アルヲ推測シ得ルヤ」

然レトモ之ニ對シテハ英國側ハ此等軍備漸減ノ事實ハ近來歐洲諸國ニ一般ナル現象ニシテ之ヲ以テ防禦的ノモノトシ軍縮ノ目的ヨリ除外セントスルハ不可ナルノミナラス軍事專門家カ一國ノ意思ヲ判定スルヲ得ヘキヤト駁シ白國モ佛國案ハ政

治的色彩ヲ帶ヒ專門委員會ニ附議スルニ適セスト主張シタル結果佛國代表モ竟ニ讓歩シ唯原案第二項ヲ其儘採用附加センコトヲ強硬ニ主張シ竟ニ第一項トシテ英國代表提案ヲ採用シ第二項トシテ原案第二項ヲ存置スルコトナリ(但原案第二項ノ攻撃的ノ文字ハ佛國側ノ主張ニ依リ侵略的ト改メラル)本問ニ關聯シ佛國代表ハ一國ノ軍事豫算制度ヲ研究スルコトカ其國ノ軍備ニ對スル觀念乃至傾向ヲ知り得ヘキ資料ニシテ專門家ノ研究ニ委スルヲ得ヘキ所ナリト主張シ英代表之ニ贊シ結局英代表ノ提案ニ依リ左記ノ一章ヲ第三問註中ニ附加スルコトニ決定セリ

「尙兵力ノ制限ハ國防ニ充當セラルル支出ノ削減ニ依リ之ヲ實行シ得ヘキコトモ主張セラレタリ依テ委員會ハ二ノ小委員會ヲシテ右可能ナリヤ又若シ可能ナリトセハ如何ナル條件ノ下ニ實現シ得ラルヘキヤヲ研究セシム」

(第五) 第五問 (イ) 第一號乃至第七號ニ關スル討議

第五問 (イ) 第一號乃至第七號ニ關シテハ佛國代表ヨリ左記ノ提案アリタリ (C.P.D./C.R./5 參照)

「各國ノ保有スヘキ軍備ハ數字の比率ノ原則ニ依リ之ヲ決定スルコトヲ得ス

然レトモ起草委員會ハ各政府カ軍縮會議ニ對シ同會議開催ノ時ニ存スル安全保障ノ程度ヲ基礎トシ理由ヲ附シタル正確且計數的ノ提議ヲ爲スヲ適當ト認ム右提議ハ少クトモ (イ) 常備兵員 (ロ) 使用材料 (ハ) 軍備費ノ三點ニ關スルモノタラサルヘカラス

起草委員會ハ軍縮會議ヲシテ右理由ヲ審査シ提議ヲ整理シ得セシムルカ爲兩專門委員會ヲシテ第五問 (イ) 一、二、三、

四、五及七ノ要素ノ軍備一般特ニ前記 (イ) (ロ) (ハ) ノ三點ニ關スル影響ヲ判定セシメ又六ノ要素ヲ軍事小委員會ニ附託ス」右提案ニ對シテハ英國代表先ツ反對シ佛國ノ案ハ本問研究ノ手續ヲ豫メ確定シ置カントスルモノニシテ果シテ賢明ナル方法ナリヤ疑ハシ第二項ニ付テ云ヘハ各國ノ提議カ同案中ニ列擧シタル三事項ニ限ラサルヘカラサル理由アリヤト主張シ佛國モ亦之ヲ認メ第二項末段「右提議ニハ」以下ヲ全部削除スルコトニ決ス次テ第一項ニ付テハ米國代表ハ數字の比率ノ原則ヲ全然除外セントスルニ反對シ海軍々備ニ付テハ此ノ比率ヲ採用スルヲ捷徑トスル場合アルヘシト述ヘ英國亦之ヲ支持

シ陸軍々備ニ付テモ各國ノ割合ヲ決定シタル後例ヘハ全體ニ付一割ノ削減ト云フカ如キ方法ヲ執ル場合モアルヘキニ付此ノ原則ヲ全然認メサルハ不可ナリト主張シ佛モ竟ニ同意ス依テ右討論ノ結果ヲ綜合シ佛國提案ヲ C.P.D./C.R. 6 書類ノ如ク修正シ起草委員會第四回會議ニ附議シタル處米國代表依然トシテ新提案第一項及第二項ノ起草委員會ノ權限ヲ逸脱スルモノナルノミナラス此等ノ事項ハ各種ノ問題研究ノ結果ヲ見テ委員會本會議ニ於テ決スヘキ事項ニシテ或ハ此ノ提案ニ包含セラルル結論ト異レル結論ヲ生スルコトモアルヘキニ付今ヨリ斷定シ置クノ要ナシト主張シ第三項ノミヲ採用センコトヲ主張シ佛國代表ハ小委員會ニ對シ何等ノ指令ヲ授ケサレハ其審議散漫トナリ歸著スルトコロナカルヘシト駁シ論爭ヲ重ネタル結果竟ニ第二項ハ起草者ニ於テ適當ニ修正シタル上報告中ニ挿入スルコトニ折合ヒ又第一項ニ付テモ白國代表ノ仲裁ニ依リ「數學的方法ハ各國ノ保有スヘキ軍備ノ全體ヲ決定スルニ於テ不十分ナルヲ認メ軍備縮少制限ノ可能の基礎ノ問題研究ヲ助クル爲……………」ト改メラルルコトナレリ(右ニ基ク本問ニ對スル起草委員會ノ決定ハ C.P.D./C.R. 6(1)書類參照)

(第六) 第五問ノ(イ) 第八號及(ロ)ニ關スル討議

本問ニ關シテハ英代表ヨリ長文ノ覺書(C.P.D./C.R.2)及佛代表ヨリ一ノ提案(C.P.D./C.R.7)及右提案ノ説明書(C.P.D./C.R.8)ノ提出アリ

英代表ノ覺書ノ要旨左ノ如シ

「聯盟規約第十六條ハ三ノ事項ヲ規定ス(一)ハ經濟的制裁ノ規定ナリ若シ聯盟カ全世界ノ國家ヲ網羅スルモノナルニ於テハ此制裁ノ有效ナルハ疑ヲ納レサルトモ現在ノ狀態ニテハ此制裁ノ有效ナル場合ハ頗ル僅少ナルヘク時トシテハ此制裁カ被侵略國ニ何等ノ壓迫ヲ與ヘス却テ他ノ聯盟國ニ損害ヲ與フルノミニ終ルコトアルヲ豫期セサルヘカラス此點ニ付經濟小委員會ヲシテ此制裁ヲ有效ニ實行スル條件ヲ研究セシムルコトヲ得ヘシ(二)ハ侵略國ニ對スル他ノ聯盟各員ノ開戦ノ宣言ナリ此方法ハ殆ント總テノ場合ニ有效ナルコト疑ヲ容レサルモ若シ侵略國カ非聯盟國ト國境ヲ接スル場合ハ如何

トモスルヲ得ス但此點ニ關シテハ兩小委員會ヲシテ研究セシムヘキ事項ハ經濟的制裁ヲ有效ナラシムル仕組ノ研究ノ外ナカルヘシ(三)ハ軍事の制裁ニ關スル規定ナリ此制裁ハ明白ナル決定ナキ限り實行サレサルモノトス此點ニ付審査スヘキ事項アリトセハ此制裁ヲ實行スヘキ制度ノ研究ノミナリ

第二總會ハ此等ノ制裁ノ實行ノ仕組ヲ確立セルモ此點ニ付尙研究ヲ再開スル餘地アリ依テ此際ハ軍事委員會ヲシテ開戦ノ宣告後ニ於ケル經濟的制裁ノ軍事の見地ヨリ見タル價值ニ付研究セシムルヲ適當ト認ム但此點ニ付テハ予ハ軍事委員會ノ解答ニ多大ノ期待ヲ爲スモノニ非ス

此等ノ制裁ノ實行ノ仕組ニ關スル諸提議ハ純政治的又ハ政治的且法律的ノ性質ヲ有スルヲ以テ專門委員會ニ附議スルニ適當ナラス英國政府ハ此等ノ問題ノ審議ニ反對スルモノニ非ルモ規約第十六條ニ基ク義務ヲ増加セシムル方法ニ對シテハ一般軍縮計畫ノ採用ニ至ラサル間之ニ賛成スルコト能ハサル旨ヲ明白ニ宣言ス

右英國ノ覺書ニ對シテハ白國先ツ批評ヲ試ミ英國ノ見解ハ規約第十六條ノ制裁ノ道德的法律的根據ヲ疑ハシメ規約ノ義務ヲ輕減セントスルモノナリ經濟的其他制裁實行ニ當リ幾多ノ不便不利アルモ夫ハ國際聯帶ノ觀念ヨリ來ル當然義務ニシテ之ヲ忍ハサルヘカラスト述フ英國代表ハソハ自己ノ提案ノ誤解ニシテ第十六條ノ存在理由ハ寧ロ無形ノ壓迫ナリ多クノ場合ハ單ナル侵略國ノ決定、外交關係ノ斷絶ノミニ足ルコトアリト駁シ押問答ヲ重ネタルモ結局英代表ニ於テ本覺書ヲ撤回スルニ至レリ

次ニ佛代表ヨリ一ノ提案及之ニ關スル同代表ノ説明書ノ提出アリ要旨左ノ如シ

「起草委員會ハ

(一) 戰爭又ハ其危險アル場合合理議會ノ召集及決定ヲ容易且迅速ナラシムル方法ニ付テ理事會ニ於テ研究ヲ開始センコトヲ提議ス

(二) 規約第十六條第二項所定ノ軍事の應援義務ニ關スル勸告決定ヲ容易ナラシムル手續及理事會ニ附議セラルル紛爭ニ

- 對シ執ルヘキ措置並理事會決定後ノ敵對行為防止方法ノ研究ヲ第一小委員會ニ附託ス
- (三) 聯盟本部ト各聯盟國トノ間ノ電信電話通信ノ完備方法ノ研究、理事會決定後被侵略國ニ與フヘキ經濟上財政上ノ應援方法ノ研究、理事會ノ利用シ得ヘキ Comité de resources et de répartition ノ構成並運用規約等ノ決定ヲ第二小委員會ニ附託ス

之ニ對シ英國代表ハ佛提案ノ根本ニ付之ヲ討議スル訓令ヲ有シ居ラサルモ之ヲ一覽スルニ理事會ニ對シ侵略ノ危險アル場合ニ執ルヘキ措置ノ研究ヲ提案セントスルニ在ルモノノ如シ然リトセハ右ハ國際聯盟ニ關係アル問題ニシテ聯盟ニ隸屬セサル準備委員會ノ權限外ニ在リ委員會ハ安全ノ問題ヲ審議スルコトヲ得ルノミ加之第三項ノ如キハ規約第十六條ヲ有效ナラシムル爲理事會ニ提議スヘキ各種ノ手段ニ付研究セントスルモノニシテ右ハ全ク問題集ニ存セサル事項ナリ勿論此問題ニ付審議スルノ必要ナシト云フニ非ルモ本件ハ寧ロ佛國政府ニ於テ理事會ニ提議スヘキモノナリト述ヘ強硬ニ反對シタルモ波蘭、白耳義ノ各代表何レモ右カ問題集ニ豫見セラレタル所ナリトテ佛提案ヲ支持シ佛代表モ亦軍縮ノ目的ヲ達セントセハ各國其ノ安全ニ付正確ナル理解ヲ有シ規約其ノ他ノ地方協定ノ機能ヲ明ニスルニ非レハ具體的ノ提案ヲナスコトヲ得ス又提案ハ決シテ規約ノ修正ヲ試ミントスルモノニ非ス其ノ適用ヲ確實ナラシムルニ在リトテ頑トシテ承服セス英佛兩代表ノ間ニ激烈ナル論争ヲ惹起シタルカ結局佛國側ニ於テ讓歩シ二十四日午前ノ起草委員會々議ニ佛國側ヨリ左記ノ趣旨ノ提案ヲナシ決着セリ即佛國提案ヲ多少修正ノ上委員會ヨリ何等可否ノ意見ヲ附セスシテ其儘理事會ニ送致スルノ形式ヲトルコトトシ僅ニ佛國側ノ顔ヲ立テタルナリ (C.P.D./C.R./12 參照)

「委員會ハ佛國代表ヨリ次ノ如キ重要ナル提案ニ接シタリ……(此間ニ前記提案ヲ其儘挿入但「第一小委員會」トアルヲ「軍事諮問委員會」ト改メ第二小委員會トアルヲ混成委員會」ト改ム)……」

右提案ニ對シテハ其目的トスル所規約第十六條ニ依リ聯盟理事會ノ執ルヘキ決定執行ノ組織ヲ定メントスルモノニシテ寧ロ聯盟ノ機關ノ權限ニ屬ストテ反對スルモノアリタリ

委員會ハ此反對ニ對シ何等ノ意見ヲ表示スルコトナク唯聯盟國以外ノ國ノ參加セル本委員會ニ於テ此等ノ國ノ關知セサル規定ヲ討議セシムルコト困難ナルヲ認メ右佛國提案ヲ理事會ニ廻付シ理事會力直ニ之ヲ考量セラレンコトヲ求ムルコトニ決議セリ

(第七) 第六問ニ對スル討議ノ經過

本問ニ對シテハ委員會ノ本會議ニ於テ其儘第一小委員會ニ廻付スルコトニ決定アリタルヲ以テ起草委員會ハ何等ノ措置ヲ執ラサルコトトセリ

(第八) 第七問ニ對スル討議ノ經過

本問ニ對シテハ波蘭代表ヨリ左記ノ提案アリ (C.P.D./C.R./10(1))

「一、委員會ハ地方の軍備カ一般ノ軍縮ニ至ル一ノ重要ナル階梯トシテ目スヘキヤ否ヤノ問題及若シ一般の軍縮ノ實現不可能ナル場合如何ナル地方カ軍事上ノ見地ヨリ軍縮問題ニ付離シテ考慮シ得ヘキヤノ問題ヲ兩委員會ニ附議ス小委員會ハ安全ノ見地ヨリシテ地方 (région) ナル觀念カ如何ナル要素ヨリ成立スルヤヲ研究スヘキモノトス(地方の聯帶ノ政治的經濟的及社會的關係並地理的位置ニ支配セラルル程度)

二、右地方ナル觀念ノ定義ヲ與ヘタル後兩委員會ハ規約ノ範圍ヲ越エサル地方の保障ヲ目的トスル一ノ特別機關ノ設立ニ依リ聯盟機關ノ任務ヲ助ケ本件ニ關スル規約ノ該當條項ノ適用ヲ一層容易且迅速ナラシムルモノニ非ルヤノ研究ヲ爲スヘキモノトス(地方の協力ノ運用形式及手續ニ關スル研究)」

右第二項ニ對シテハ英代表直ニ反對シ此種提議ヲ審議シ得サルノミナラス理事會亦規約第十六條ノ規定ヲ一層明確ニスルコトニ付テハ大ナル困難ヲ見出スヘシトテ之カ撤回ヲ主張シ伊モ之ニ贊成ス他方米國代表ヨリ又本問ニ對シ左記趣旨ノ提案アリ (C.P.D./C.R./11)

「委員會ハ地方的協定カ軍備減少問題殊ニ陸軍々備ニ付一ノ最も實際的方法ナルヲ認メ第一小委員會ヲシテ軍事上ノ見

地ヨリ(イ)如何ナル地方カ陸軍々縮ノタメ離シテ考慮シ得ヘキヤ及(ロ)海軍々縮ニ當リ如何ナル範圍ニ於テ必要ノ場合地方の協定實現シ得ヘキヤヲ研究セシム」

波蘭代表ハ其ノ提案第一項ト米國案ノ合併ヲ提議シ兩國委員ハ共同ノ上一案ヲ委員會ニ提議シタルモ異論多ク結局左記ノ案ヲ採用スルコトニ折合ヒタリ

「第七問ニ關シ委員會ハ陸海空ノ地方の協定カ一般ノ軍縮ニ至ル一ノ重要ナル階梯トシテ行ハレ得ヘキヤノ問題及一般ノ軍縮カ直ニ實施シ得ラレサル場合軍備縮少ノ見地ヨリ見テ如何ナル地方カ離シテ考量シ得ヘキヤノ問題ヲ兩小委員會ニ附議ス

兩小委員會ハ安全及軍備ノ見地ヨリ見テ地方(region)ナル觀念カ如何ナル要素ヨリ成立スルヤヲ研究スヘシ」

(第九) 軍事監督問題ニ關スル白國代表ノ提議(C.P.D./C.R. 9.)

軍事監督ノ問題ニ關シ白國代表ヨリ左記ノ趣旨ノ提案アリ

「聯盟規約第八條末項所定ノ軍事報道交換ニ關スル組織設定ノ爲執リ得ヘキ各種ノ方法殊ニ壽府ニ一ノ情報蒐集ノ常設機關ヲ設ケ或ハ各國ノ回答或ハ聯盟ヨリ各國ニ送ル軍事代表(attache)ノ報告ヲ蒐集セシムルカ如キ方法ノ軍事的見地ヨリ見タル利害得失ヲ第一小委員會ヲシテ研究セシム

軍縮ニ關スル協定又ハ或種戰爭方式禁止ニ關スル協定中ニ國際勞動機關構成規約ニ存スルカ如キ規定(對獨平和條約第四一條乃至四二〇條)ヲ挿入スルコトノ軍事的見地ヨリ影響ニ付第一小委員會ヲシテ研究セシム又第二小委員會ハ此種規定挿入ノ經濟の見地ヨリ見タル影響ヲ研究スヘキモノトス

第一小委員會ハ又從來ノ軍縮監督ニ關スル經驗ニ徴シ如何ナル範圍迄一般監督カ軍事上可能ナリヤヲ研究スヘク第二小委員會ハ此種ノ一般監督ノ經濟上ノ障礙アリヤ若シ障礙アリ得ルモノトセハ如何ナルモノナリヤヲ審議スヘキモノトス」

右案ニ對シテハ英國側ハ冒頭ノ壽府ニ情報蒐集ノ機關ヲ設立スルノ案及軍事代表者ヲ派遣スルノ案ヲ例示スルコトニ反對スル外大體之ニ贊成スルノ意ヲ表シタルモ伊國代表ハ監督問題ヲ審議スルコトニハ伊國政府反對ナルコト又情報交換ノ義務ヲ聯盟國ニ強制スル方法ナキコトヲ理由トシテ之ニ反對シ又我代表モ本問題カ政治的色彩ヲ帶ヒ小委員會ニテ審議スルニ適セサルコト質問集ニ於テ豫見シ居ラサルコト及本件カ適當ノ時機ニ審議セラルルコトニハ敢テ反對セサルモ各國主權ニ對スル問題ノ影響ニ付テハ慎重注意ノ要アル旨ヲ述ヘ置キタリ然レトモ委員會大勢ハ本問題カ質問集ニ存セサルモ本件ノ上程セラルルコトハ理事會ノ豫想シ居ル處ナルコト及本問題カ軍縮實行確保ノ手段トシテ特ニ研究ヲ要スル重要問題ナルコトヲ理由トシテ小委員會ニ附議スヘシトスルニ一致シ結局白國代表ノ提案ヲ採用シ唯前段ノ報道交換ノ爲メ執ルヘキ各種ノ方法ヲ例示スル部分ヲ削除スルコトナレリ(C.P.D./C.R. 9(1) 參照)

(第十) 化學戰問題ニ關スル英國代表ノ提案(C.P.D./C.R. 13)

英國代表ヨリ左記ノ趣旨ノ提案アリ(C.P.D./C.R. 13 參照但同提案末項ノ冒頭三行ハ提案者ニ於テ撤回ス)

「化學戰及之カ防遏ニ關スル左記ノ問題ヲ第一小委員會ニ附議ス

- (一) (イ) 化學製品(染料ヲ含ム)ノ製造ニ通常且合法的ニ使用セラルル工場ハ迅速ニ有毒瓦斯ノ製造ニ充當シ得ヘキヤ
- (ロ) 若シ充當シ得トセハ此カ改造ニ要スル時間如何
- (ハ) 化學製品工場ヲ有毒瓦斯製造ニ充當スルコトヲ防遏スル何等カノ方法アリヤ
- (ニ) (イ) 瓦斯散布ニ用ヒラルル方法及器具
- (ロ) 右器具製造及右器具ヲ航空機ニ裝置スルニ必要ナル期間
- (ハ) 右期間ハ航空機ノ民間ノモノタルト軍用ノモノタルトニ依リ差別アリヤ
- (三) (イ) 人口調査ナル地方ニ於ケル有毒瓦斯散布ノ效果ニ關シ現存スル最モ確實ナル報告如何
- (ロ) 右ニ關スル實驗ヲ爲シタルコトアリヤ

(ハ) 全任氏ニ毒瓦斯防禦口蓋ヲ帶ハシムルコト困難ナルノ問題ノ外口蓋ニヨリ防禦スルコト不可能ナル瓦斯アリヤ尙右等問題ノ外第一小委員會ハ有毒瓦斯及微菌ノ使用ニ關スル國際取極ノ實行ヲ確保スル爲執ルヘキ有效ナル制裁ニ付研究ヲ爲スヘキモノトス」

右提案ニ對シテハ何等ノ議論ナク其儘採用セラレタリ

(第十一) 起草委員會ノ委員會本會議ニ對スル報告案ノ審議

以上起草委員會ノ討議ノ結果委員會本會議ニ對スル報告案(C.P.D./C.R. 15) 白代表「ブルックール」氏ヨリ提出アリ二十五日午前ノ會議ニ於テ之ヲ審議シ左記ノ修正ヲ加ヘテ之ヲ採用シ委員會本會議ニ提出スルコトナレリ

(一) 第二章ノ内

(イ) 第一問ニ關シ「委員會議長及副議長ハ兩小委員會ノ事業ヲ統一整理シ一ノ小委員會ヲシテ他ノ意見ヲ徵シ得ル様總テノ措置ヲ執ルコトヲ得」ナル一句ヲ第一章ノ末段ニ附加スルコトセリ

(ロ) 第二問ニ關シ英代表ハ第一項ト第二項ト矛盾スルコトヲ指摘シ第二項ハ第一項ニテ斷定ヲ下シ居ラサル部分ニ付專門委員會ニ附議スルコトトスヘシト主張シ白、佛モ之ニ賛成シ竟ニ第二項ヲ左ノ通り修正セリ

「第一項ニ指定セル兵力ノ定義及コレ以上ノ制限ノ可能ナルヤ否ヤノ研究ヲ第一小委員會ニ附議ス」

(ハ) 第二問(ロ) 及第三問

第一項ヲ改メ各國相互ノ軍備ノ全體ヲ比較スルコトトスヘシト伊國側ヨリ提議アリタレ共英代表ハ各國軍備全體ノ比較ハ各國軍備ノ段階ヲ定メテ後ノコトニシテ本問ニ於テハ此範圍ノ研究ニテ足レリト主張シ伊代表モ之ヲ諒トシ原案其儘通過セリ

(ニ) 第四問及第六問異議ナク通過

(ホ) 第五問

「セルフ、クロアット、スロヴヱニス」ノ提案(C.P.D./12) ハ其儘小委員會ニ送付セララルコトナレリ

(二) 第三章ニ關シ

獨逸代表ヨリ左記ノ趣旨ノ聲明ヲ爲セリ

「規約第十六條應援義務實行ノ研究ヲ理事會ニ附託スルコトニ關シ獨逸ハ何等異議ヲ有セサルモ獨逸ハ未タ事實上聯盟國乃至理事會國ニアサルニ依リ本件ニ關スル意見ヲ理事會ニ傳ヘラレンコトヲ要求ス即被侵略國應援ヲ迅速ナラシムル方法ノ研究ハ現在ノ各國ノ軍備ノ狀態ヲ基礎トシテ爲スヘキモノニアラスシテ軍縮會議ノ結果タル軍備縮少ノ狀態ヲ基トスヘク右軍縮ノ根本ハ如何ナル一國モ聯盟ノ用ヒ得ヘキ武力ニ對抗スルニ充分ナル武力ヲ有シ得サルコトニアリ云々」

右聲明ノ措置ニ關シ佛、英、獨諸代表ノ間ニ意見ノ交換アリタル結果右聲明ヲ其儘報告ノ附屬トシテ添付スルコトナレリ又米國代表亦左ノ趣旨ノ聲明ヲ爲シ此亦報告中ニ挿入セララルコトナレリ

「米國代表ハ軍縮ノ目的ノ爲メ企圖ニ對シ協力スヘク又聯盟加入國ニ依リ締結セラレタル義務ニ關スル各種提案ヲ討議スルコトニ敢テ反對スルモノニ非スト雖此等討議ハ米國ノ參加スヘキ筋合ノモノニ非ルヲ以テ米國代表ハ之ニ付何等責任ヲ執ルコトヲ得ス此留保ハ殊ニ本報告第一章、第二章(ロ) 及第三章ニ關スルモノナリ」

第四章 委員會本會議ニ於ケル起草委員會報告ノ審議經過

起草委員會報告(C.P.D./15) ハ二十五日ノ委員會本會議ニ提出セラレ委員會ハ同日及翌二十六日ノ兩回ニ亘リ之ヲ審議シ多少ノ修正ヲ施シテ之ヲ採用セリ尙希臘及洪牙利ノ兩國ヨリ長文ノ意見書提出セラレ(C.P.D./1, C.P.D./13) タルニ付委員會之ヲ審議シ小委員會ニ送付シ研究セシムルコトトセリ右ニテ軍縮準備委員會第一回會合ノ事業ヲ終了シ兩小委員會ニ於テ前記報告ノ趣旨ニ基キ審議ヲ開始スルコトナレリ以下本會議ニ於ケル起草委員會報告及希洪兩國ノ意見書審議ノ

經過大要ヲ摘記スヘシ

(一) 起草委員會報告ノ審議

(イ) 第一章ニ關シ

羅馬尼代表ヨリ本章全部ヲ第三總會決議第十四ノ趣旨ニ書キ改メ殊ニ未段ヲ「一國安全ニ充分ナル保障……」トスヘシト提議アリタルモ報告者タル白國代表ハ本件ハ起草委員會ニ於テ論争ノ結果成リタル成案ニシテ之ヲ修正スルトキハ委員會ノ結論ト離ルル虞アリ且羅馬尼代表ノ懸念ハ本委員會招集ニ關スル理事會ノ決議ヲ見レハ一掃セラルヘシトテ原案維持ヲ主張シ羅馬尼代表モ納得シ其ノ通り決定ス

(ロ) 第二章ニ關シ

化學戰ニ關スル英國提議ニ關シ「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」代表ヨリ右ハ既ニ客年ノ兵器取引取締會議ニ於テ一ノ議定書締結セラレ居ルニ付此提案ハ無用ナルヲ以テ削除スヘシト主張シタレトモ英代表ハ自己ノ提案ハ何等議定書ヲ毀損スルモノニ非ス各國ノ豫算ニハ化學戰研究ノ爲ノ莫大ナル經費計上セラレ居ルノ事實ヲ見テハ吾人ハ此ノ問題ヲ特ニ研究シ之カ監督ヲ實行スル方法ヲ求メントスルニ在リト駁シ白國モ之ニ賛成シ又我代表モ帝國カ常ニ此ノ問題ニ重キヲ置キタルコトヲ述ヘ英代表ノ提議カ右議定書ト離レテ別個ノ存在及價值ヲ有スル所以及戰時ニ於テ化學戰ヲ禁壓セントセハ平時ヨリ之カ研究ヲ完全ニシ置クヲ要スル所以ヲ述ヘ英代表案ノ存置ニ賛成シ置キタリ結局英代表ノ提議ニ依リ提案中ニ「現存ノ條約取極其他國際法ノ規定ニ何等影響スル所ナク……」ナル一句ヲ挿入スルコトトナレリ

(ハ) 第三章ニ關シ

芬蘭代表ハ佛國提案ノ(ニ)(B)ニ「規約第十六條第二項」トアルヲ「規約第十六條第二項及第十七條第一項及第三項」ト改メンコトヲ提議シタレトモ英佛代表ハ規約第十七條ハ第十六條適用ノ一ノ場合ナルニ付之ヲ明記スルノ要ナカルヘ

シト主張シ結局芬蘭代表ノ主張ヲ議事録ニ挿入スルコトニ折合セタリ

(ニ) 委員會報告ノ理事會提出

起草委員會報告ハ前述ノ如キ修正ヲ施シタル上滿場一致可決之ニ前文(C.P.D./16)ヲ附シテ理事會ニ提出スルコトトナレリ但米國代表ハ自國ノ聯盟國タラサルヲ理由トシテ此ノ理事會ヘノ提出ノ可否ニ付意見ヲ述フルノ地位ニ非ストテ棄權セリ

(二) 希臘及洪牙利兩國ノ意見書ノ審議

「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」代表ハ洪牙利政府ノ意見書中對洪平和條約ノ洪牙利ノ一般狀態ニ及ホス影響ニ付記述セル點及「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」ノ軍備カ洪牙利ニ對スル一ノ脅威ナリト斷定シタル點ニ付此ヲ批難シ自國ノ平和的政策ニ付陳述スル處アリ羅馬尼代表モ同意見書ニ對スル同國政府ノ意見ヲ留保シタル上小委員會ニ附議センコトヲ提議シ「チラコ」代表ハ平和條約ニ變更ヲ加フヘシトノ意見ハ蓋シ洪牙利政府ノ意見書ヲ以テ嚆矢トス平和條約ハ軍縮事業ノ基準ニシテ且出發點ナルヲ以テ此根本精神ハ斷シテ曲クヘカラストシ同提案中技術的事項ノミヲ小委員會ニ附議スヘシト主張ス獨代表ハ軍縮ノ事業カ平和條約ニ依テ築カレタル基礎ノ下ニ議セラルヘキヤ否ヤハ問題外ナリ吾人ノ目的ハ一般の軍縮ノ實現ニ在リ之カ爲ニハ平和條約締結當時ノ狀態ヲ基礎トスヘキニ非スト駁シ意外ノ波瀾ヲ生セントセシモ結局洪牙利政府提案ニ含マルル政治的問題ハ一切審議セサルコトトシ左ノ決議ヲ採用シ希臘兩國ノ意見書ヲ小委員會ニ送付スルコトトナレリ

「委員會ハ希臘及洪牙利兩國政府ノ意見書中兩小委員會ノ權限ニ屬スル事項ヲ右兩小委員會ニ附託ス」

(三) 準備委員會今後ノ事業遂行ノ手續

準備委員會事業遂行ノ方法ニ付テハ伊國代表ハ小委員會ノ審議終了後委員會本會議召集ニ先立チ一ノ整理委員會(Comite de Coordination)ヲ作り研究ノ結果ヲ整理セシムシヘト提議シ英代表モ小委員會ノ報告ハ相當浩瀚ノモノトナルヘキニ

付之ヲ摘要シ整理スル爲早晩一ノ委員會ヲ作ルノ必要アルヘシトテ之ニ賛成シタルモ我代表ハ之ニ反對シ小委員會ノ報告ノ整理ハ委員會議長及副議長ニ於テ之ヲ擔當スヘキコト報告ニ示ス處ナルニ付目下ノ處ニテハ常軌ヲ履ミ小委員會ノ審議ヲ俟ツコト得策ナリト述ヘ羅馬尼亞代表モ委員會全員ノ軍縮事業ニ協力スルノ必要アルヲ力説シ結局議長ノ提議ニ依リテ小委員會ノ報告完成次第本國政府ニ相談スルノ餘裕ヲ與フル爲之ヲ各國代表ニ送付シ研究ノ時間ヲ與ヘ其後徐ロニ審議スルコトニ決セリ

次ニ米國代表ヨリ小委員會ノ審議ノ期間ヲ大體定メ置クカ又ハ議長及副議長ヲシテ委員會本會議召集ノ時期ヲ定メシムルコトトシテハ如何トノ提議アリ然レトモ議長先ツ之ニ反對シ英國代表モ亦小委員會ノ事業ハ複雑廣汎ニシテ恐ラクハ數週間乃至數ヶ月ヲ要スヘク又本事業ハ聯盟創立以來ノ大問題ニシテ國際觀念ノ一ノ革命トモ云フヘキ程ナレハ充分時間ヲ惜マス研究スルヲ要スト主張シ結局米國側モ納得シ次回開會ノ時間ハ議長及副議長ニ於テ決定スルコトニ落着セリ

〈参考〉

2 軍備縮少會議準備委員會

第二回會議報告書